

山口県長門地域

市産材を活用した木造住宅の取組

重点プロジェクト②「一般社団法人リフォレながと」を核とした成長産業化の促進

市産材活用住宅への補助事業で、市産材サプライチェーンの構築

【現状と課題】

主伐を推進し、地域内での素材生産量が増加する中、生産された原木のほとんどが地域外に出荷されている状況である。そこで、地域経済活性化の観点から、地域内での需要拡大を図る、市産材サプライチェーンの構築が急務となっている。

【取組の概要】

木材使用の多い住宅に着目し、市産材を一定量使用した住宅に対する補助制度を起爆剤として、市産材の需要拡大を展開。地域の司令塔である「(一社)リフォレながと」が市産材の需給調整やトレーサビリティ、地域工務店への周知等、サプライチェーンマネジメントの総合調整役として牽引。

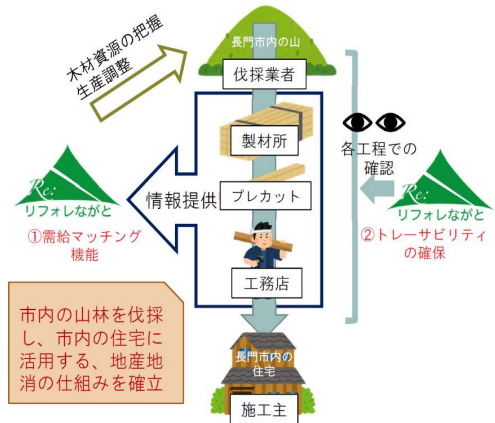


図1 サプライチェーンイメージ図

【取組の効果・成果】

地域工務店で市産材を取り扱う工務店が5社増加。
令和3年度は市産材活用住宅が5棟(市産材使用量約12.5m³)建築され、市産材の需要拡大に貢献。

【成功要因】

産・官・学で形成する協議会で事前協議を行い、関係者の協力がスムーズに進んだ。
リフォレながとが司令塔となり、工務店からの情報収集をもとに、木材資源の把握・生産調整を実施、また各工程で検収を行い、産地証明書を発行することでトレーサビリティの確保に努めた。
取組PR用ののぼり旗、PV、ステッカーを作成し、市民への認知度アップを図った。

【今後の展望】

本事業の中で市産材サプライチェーンを確立することができたことから、今後はこの取組を継続させ、良質な材を安定的に供給できることを強みとして地域内外の工務店へ積極的に取組を周知し、市産材のさらなる需要拡大を図る。

また、市民の方々にもPVなどを活用し認知度をさらに向上させ、市民の方々と一緒に取組の輪を広げていく。

担当者: 連絡先
山口県長門市役所経済観光部
農林水産課林業振興班
高見雄飛
メール: takami.yuhi@city.nagato.lg.jp
電話 0837-23-1142



図2 市産材活用住宅の外観



図3 市産材活用住宅の内観
(床材: シイ、天井: スギ)



図4 市産材活用住宅ののぼり旗



図5 市産材活用住宅のPV



図6 市産材活用住宅のステッカー